

## 記事

[Toshihiko Minamoto](#) · 2022年9月20日 6m read

# データ移行ツール パート III: DB2 から IRISへ

これは、市場に出回っている主なデータベースから InterSystems IRIS への移行に関する連載第 3 回目の記事です。このパートでは、DB2 からの移行手続きを説明します。前の記事で説明したとおり、現時点ではいくつかの移行オプションが存在しますが、最も一般的なオプションは、DBeaver (<https://openexchange.intersystems.com/package/DBeaver>) または SQLGateway を使用する 2 つの方法です。最初のオプションはこの記事で紹介しますが、2 つ目のオプションは Robert Cemper が書いた「SQLgateway を使ったデータベース移行」(<https://community.intersystems.com/post/db-migration-using-sqlgateway>) という優れた記事で紹介されています。

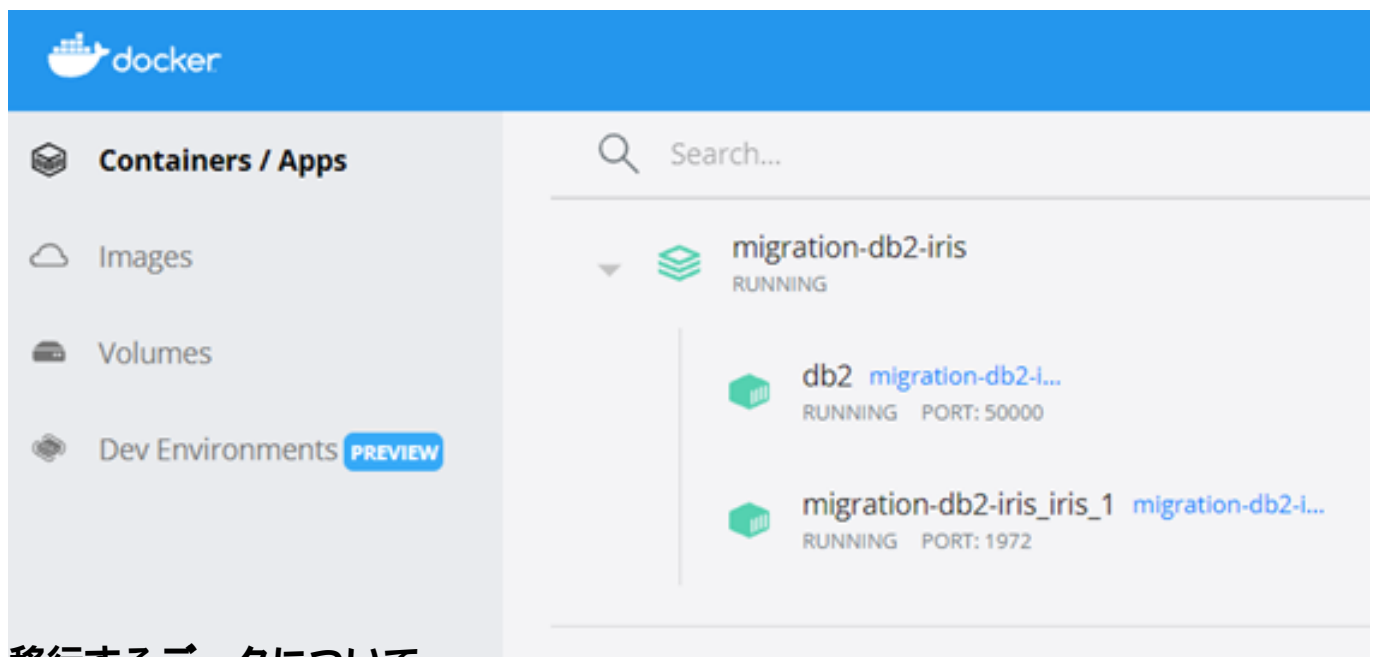
## 移行プロセス用のサンプルデータを取得

GitHub では、2 つのデータベースをビルドして実行する Docker Compose プロジェクトをダウンロードできます。

- **ソースデータベース:** サンプルデータベースを含む DB2 データベースの Docker インスタンス。
- **ターゲットデータベース:** ソースデータベースを受け取る準備のできたスキーマを含む InterSystems IRIS データプラットフォームの Docker インスタンス。

サンプルを取得して実行するには、以下の手順に従います。

1. git リポジトリの <https://github.com/yurimarx/migration-db2-iris> に移動します。
2. プロジェクトを Clone します。git clone <https://github.com/yurimarx/migration-db2-iris.git>
3. migration-db2-iris プロジェクトフォルダに移動します。
4. ビルドを実行します: docker-compose build
5. コンテナを実行します: docker-compose up -d
6. Docker デスクトップで、インスタンスに問題がないことを確認します。



## 移行するデータについて

最初の2つのパートでは、販売データベースを操作しました。DB2の場合は、インストールにサンプルデータベース（より完全な販売データベース）が含まれているため、この記事ではそのデータベースを使用します。移行されるデータは以下のとおりです。

DB2からIRISへの移行プロセスには、22個のテーブルが含まれます。移行先は、InterSystems IRISデータベースのUSERネームスペース内にあるdctestスキーマです。

## DB2からIRISに移行するためのオープンソースツール: DBeaver

DBeaverは、市場に出回っている主要データベース製品を使用する際に、データオブジェクトを接続、作成、ドロップ、選択、更新、および削除するデータベースツールです。

<https://openexchange.intersystems.com/package/DBeaver> からダウンロードできます。

インストール手順に従って、この優れた製品をノートパソコンかデスクトップにインストールしてください。

DBeaverは、データベースのメーカーやバージョンが異なる場合であっても、データベース接続間でデータを移行するために使用できます。

## DBeaverを使って、ソースデータベースとターゲットデータベースを接続

移行するデータベース接続を設定します。

DBeaverへのDB2接続を設定するには:

1. DB2への初回接続には、5~10分かかります。これは、Dockerインスタンスが作成された後にDB2スクリプトがサンプルを構築するために必要な時間です。
2. DBeaverで、[ファイル]>[新規作成]に移動します。3. [データベース接続]を選択して、[次へ]をクリックします。
4. [SQL]タブ>[DB2 LUW]を選択して、[次へ]をクリックします。
5. 以下の図に示されるように、DB2接続のフィールドに入力します。

ホスト: localhost ポート: 50000 データベース:  
sample ユーザー名: db2inst1 パスワード: password  
[終了]をクリックします。

DBeaverへのInterSystems IRIS接続を設定するには:

1. DBeaverで、[ファイル]>[新規作成]に移動します。2. [データベース接続]を選択して、[次へ]をクリックします。
3. [SQL]タブ>[InterSystems IRIS]を選択して、[次へ]をクリックします。

4. DBeaver が InterSystems IRIS ドライバーのダウンロードを要求したら、[ はい ] または [ OK ] を押します。
5. 以下の図に示されるように、InterSystems IRIS 接続のフィールドに入力します。

ホスト: localhost データベース/スキーマ: user  
ユーザー名: SYSTEM パスワード: SYS  
[ テスト接続 ] と [ 終了 ] をクリックします。

接続 ( sample と user ) がデータベースナビゲーターで利用できるようになります。

## 移行を行う

移行を行うには、以下の手順に従います。

1. sample 接続 ( DB2 接続 ) > public を展開し、すべてのテーブルを選択します。  
以下の図のように、選択したテーブルを右クリックして、[ データをエクスポート ] を選択します。
2. 以下の図のようにデータベースを選択して、[ 次へ ] をクリックします。
3. [ 選択 ] ボタンをクリックします。
4. dctest を選択して、[ OK ] をクリックします。
5. IRIS と DB2 では、XML 値の格納に異なるデータ型が使用されているため、ターゲットデータベースのデータ型構成を変更する必要があります。
6. DB2INST1.CATALOG テーブルを展開して CATALOG フィールド ( XML フィールド型 ) を選択し、[ 列... ] をクリックします。
7. ターゲットの型を LONGVARIABLE から VARCHAR(10000) に変更して、[ OK ] をクリックします。
8. このプロセスを他のテーブルで繰り返します。
  - a. CUSTOMER の INFO と HISTORY フィールド
  - b. PRODUCT の DESCRIPTION フィールド
  - c. SUPPLIERS の ADDR フィールド
  - d. PURCHASEORDER の PORDER フィールド
9. ターゲットデータ型の変更が完了したら、[ 次へ ] をクリックします。
10. [ フェッチサイズ ] を 1000000 に設定して、[ 次へ ] をクリックします。
11. データ読み込み設定のデフォルト値を受け入れて、[ 次へ ] をクリックします。
12. [ 確認 ] で [ 続行 ] をクリックします。
13. これで、データベースナビゲーターで、InterSystems IRIS dctest スキーマ内のすべての DB2 テーブルが表示されるようになりました。

テーブルの移行プロセスは非常に単純でしたが、ビュー、関数、トリガー、およびストアドプロシージャについては、ObjectScript か SQL で SQL ソースコードを書き直す必要があります。

### [# データのインポートとエクスポート #InterSystems IRIS](#)

---

#### ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E7%A7%BB%E8%A1%8C%E3%83%84%E3%83%BC%E3%83%AB-%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%88-iii-db2-%E3%81%8B%E3%82%89-iris%E3%81%B8>